

【緑地を楽しむ本】

『ヤママユ ーまゆをつくるむしー』

かがくのとも 618 号

岩淵真理作 福音館書店



西緑地の部会の
1 つである、ヤママ
ユ連。緑地を守っ
ている何人もの
方々がヤママユを
育てていらしたと聞

く。私も1度、ヤママユの幼虫が作ったまゆを1
ついただいた。まゆのついたコナラの枝は花瓶
にさしておいた。ある朝、茶色の大きな蛾がい
るのに驚いて、思わず叫びそうになった。見れ
ばとても美しい。これがヤママユ蛾であった。

ヤママユがどのように成長するのかと思っていた
ら、ちょうどいい本があった。ヤママユのご飯はコ
ナラ。ヤママユはまゆを作る前に4回も脱皮する
こと、その後2週間して水っぽい糞をすること、糸
をはいてまゆが完成するまでに3日もかかること、
その糸の長さは500mにもなること、まゆの中で脱
皮まですること、何か月かけて大人の蛾になるこ
となど、ヤママユの秘密を沢山教えてくれる。いつ
もながら、人間の及ばない虫のすごさに脱帽してし
まう。

(齋藤好子)

※鶴2小の4年生が毎年ヤママユを育てています。